※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術２　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・周囲と自分の関りや新たな気付きが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の使い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は
振り返りレポートや相互評価を行い作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

２　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の動きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	自分を表現した招き猫の制作	【デザイン】【立体】【鑑賞】 1. 鑑賞 日本古来より作られてきた招き猫について調べて鑑賞し、表現の意図や込められた思い、工夫を感じ取る 2. 構想を練る 「自分」を表現するものを考え、どうデザインに活かすかをアイデアスケッチする 3. 制作① デザインをもとに新聞紙、紙粘土を使って表現する 4. 制作② アクリル絵の具を使って着色する 5. 鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a:（知識） 招き猫に対してその歴史や成り立ち、デザインの意図や工夫について理解している。 （技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b:（発想や構想） 自己を深く見つめ、主題に合ったデザインを工夫し、創造的に表現する。 c:（鑑賞） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作作品	アイデアスケッチ 制作作品	アイデアスケッチ 制作作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	オリジナル双六の制作	【デザイン】【鑑賞】 1. 鑑賞 古来より作られてきた絵双六について調べて鑑賞し、表現の意図やデザインの工夫を感じ取る 2. 構想を練る 表現したい主題を考え、双六ゲームとしてどう展開させるかを考え、アイデアスケッチする 3. 制作 効果的な構図、配色を考えながら制作する 4. 鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a:（知識） 双六の歴史や成り立ち、デザインの意図や工夫について理解している。 （技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b:（発想や構想） 主題に合ったデザインを工夫し、創造的に表現する。 c:（鑑賞） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作作品	アイデアスケッチ 制作作品	アイデアスケッチ 制作作品 ワークシート
三学期	石膏プリントの制作	【版画】【鑑賞】 1. 構想を練る 表現したい主題を考え、凹版の仕組みを理解しアイデアスケッチする 2. 制作 ニードルの使い方や石膏の特性を理解して取り組む 3. 鑑賞 友達の作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見をまとめる	a:（技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 b:（発想や構想） 主題に合ったデザインを工夫し、創造的に表現する。 c:（鑑賞） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創造活動に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 制作作品	アイデアスケッチ 制作作品	制作作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度